

2号ハウス

○令和3年3月に完成した施設です。

○かん水チューブを用いた「散水」を行っているほか、1・3・4号ハウスと同じく、複合環境制御装置で遮光カーテンや冷房等の稼働を自動で行っており、最適な栽培環境を維持しています。

外観



南北に2カ所ずつ出入口があり、扉の奥には防虫ネットを設置しています。

内観



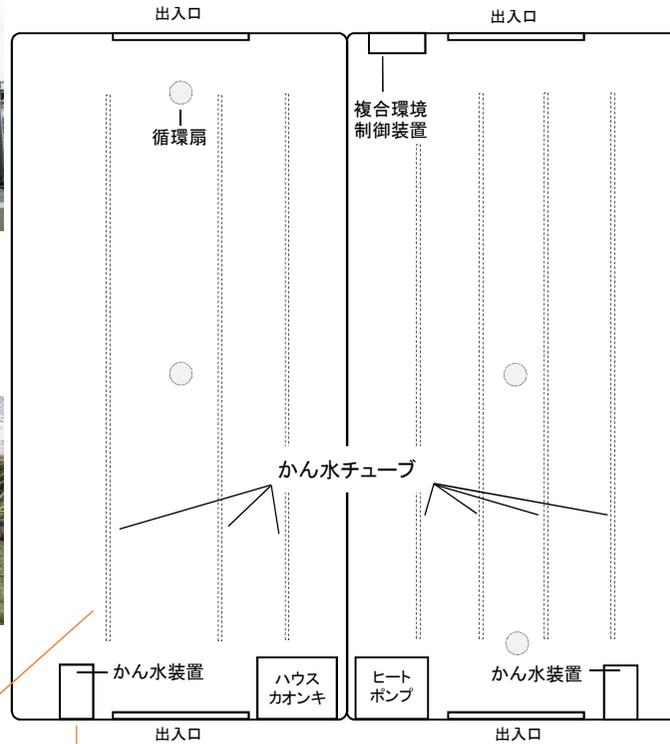
ハウス内に常に作物があるよう、年間を通じて小松菜・ほうれん草・ラディッシュ等を栽培しています。

散水

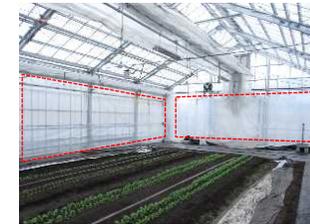


かん水チューブを用いて、散水を行っています。

〔チューブを用いた散水: やわらかい雨のような散水で土の跳ね返りがなく、やさしく作物を濡らすかん水方法。〕

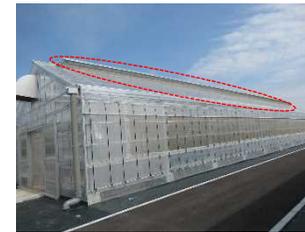


保温カーテン(手動)



冬は冷え込むため、ハウス内周にある手動の「保温カーテン」を閉めています。保温カーテンが1枚あるだけで、夜間の気温低下が和らぎ、暖房の効きが良くなります。

天窓



温度や湿度等の状況に合わせて、開閉します。複合環境制御装置により自動で稼働

養液かん水装置



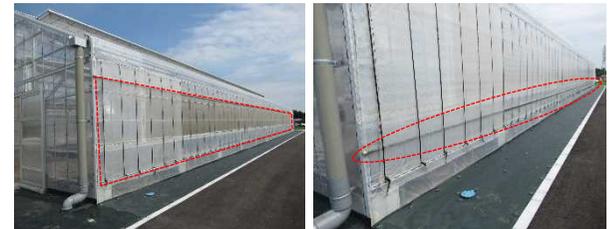
自動かん水を行う装置です。(かん水の時間や量、液肥濃度を設定)

防草シート



雑草が生えるのを防ぐため、ハウス内周に設置しています。

横カーテン(外部巻上)



温度や湿度等の状況に合わせて、横のカーテンが巻き上がり開閉します。(複合環境制御装置により自動で稼働)